

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 胃切除術後に膵液漏を合併するリスク因子の検討

[研究責任者] 長崎医療センター 外科 笠 伸太郎

[研究の背景]

解剖学的に膵臓は胃の背側に位置しており、胃切除の際に圧迫や損傷を起こす例がこれまでも報告されています。膵臓損傷による膵液漏は発症すれば入院期間が長期化するだけでなく、予後や術後の生活にも影響を与えかねない重篤な合併症となります。腹腔鏡下での胃切除術が標準治療になりつつある現在において、膵液漏の合併が開腹術より多いという現状は改善をすべきであり、膵液漏を合併する原因を特定することは膵液漏合併率を下げるための第一歩と考え、本研究を計画しました。

[研究の目的]

胃切除術を行った方の、基礎疾患や術式選択、膵臓の特徴から術後膵液漏の発生原因を統計学的手法を用いて明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2020 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 12 月 31 日までに長崎医療センター外科で胃切除手術を行った患者さん

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日～西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：血液所見（CBC、白血球分画、肝腎機能、アミラーゼ値、ドレーン生化学検査値）、術後ドレーン検査所見（アミラーゼ値）、臨床所見（年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、臨床病期）、画像所見（腫瘍評価、膵形態評価）、治療（術式、郭清範囲、再建法）

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 笠 伸太郎

電話番号：0957-52-3121（代表）